

いろいろな体験が人生の知恵や力に

課外活動の経験から得られる力や地域社会にもたらされるメリットについて、若者の社会参画(ユースワーク)に詳しい日本文理大学の高見大介 人間力育成センター長(39)に聞いた。

考え方や環境が異なる人と出会い関わることで、いろいろな体験ができ、生きていくための知恵や力を養える。人間関係や社会は単純ではないからこそ、主体性を持って課題に取り組むことが重要。「より良くしたい」と思い考えることが学びの本質だからだ。

活動に取り組んでいても、すぐに結果が実感できないことが多い。し

かし、周囲に必要とされることが小さな成功体験となり、その積み重ねが自己肯定感を生む。活動を通し、地域社会とつながることは自分自身のことを理解できると同時に、自信を持つことにつながる。そういった経験が将来必ず人生の役に立つ。

地域社会で若者が活動するためには、大人のサポートが欠かせない。このような活動に取り組むのは、自



日本文理大学
人間力育成センター長
高見大介さん

分たちが社会の一員だと気が付いたからこそ。目先の結果ではなく、主体的に地域に関わりを持とうとしている行動のプロセスを評価してほしい。継続的に取り組むことに重点を置き、経済と切り離して考えることも大切。若者が課外活動に取り組む姿は地域のロールモデルとなり、世代のつながりを作り直すきっかけとなるはずだ。